

【1 地域の子育て支援の充実】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生委員・児童委員協議会、市町、保健所＞

① 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・4ヶ月を24回、1歳8ヶ月を24回、3歳4ヶ月を24回、発育発達相談を12回、医師を派遣した。
	草加八潮医師会	小児科、産婦人科に従事する医師、医療機関を中心に、診察や相談等に対応し、安全で安心な環境整備に尽力、提供した。
	越谷市 歯科医師会	<p>母親学級・妊産婦歯科検診で埼玉県・埼玉県歯科医師会作成の「お口の母子手帳」を活用し（ダウンロード可能）妊娠中から出産、産後から6歳までの歯育て・口の急なけがをしたときの対応をわかりやすく説明し、妊産婦の方に理解していただき安心・安全な支援を行うことを周知徹底しています。</p> <p>1、6、3歳児歯科健診の個別に対応し保健指導を行っています。</p>
	春日部市	<p>【こども相談課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター（ぽっぽセンター）に、助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。 ・相談体制をさらに充実させるため、月曜日と木曜日は、助産師1人を増員し2人体制とした。 <p>利用実数：5,494人</p>
	草加市	<p>令和子育て支援包括センターを立ち上げ、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じて、必要な情報提供や、母子健康手帳の交付、助言・保健指導をおこなった。</p> <p>令和2年度母子健康手帳の交付及び面談件数 1848件</p>
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月に子育て世代包括支援センターを市役所と保健センターの2か所に開設した。子育て世代包括支援センターでは、母子健康手帳を交付する際に、保健師や助産師などの専門職が、妊婦さん全員と面談を実施し、本人の体調や育児不安の有無、生活状況などを把握しながら、仕事と子育ての両立などの様々な悩みや不安に対する相談や、子育てに関するサービスなどの情報提供を行い、安心して出産・子育てが出来るよう、妊娠中からのサポートを行った。 <p>令和2年度 母子健康手帳交付数 2,757件 支援プラン作成数 265件</p>
	八潮市	<p>「にじいろ子育て相談室（子育て世代包括支援センター）」において、専任の保健師または助産師を常時1人配置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時面接人数 950人 ・来所相談 206人 ・電話相談 845人
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。 延実施者数：訪問指導1484人、来所相談551人、電話相談3629人。 ・子育て支援ステーションほほえみ（子育て世代包括支援センター）で妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要な場合には支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布。 ・利用者支援事業（基本型・特定型・母子保健型）を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施。
	吉川市	子育て世代包括支援センターに助産師を専門職員として常時1人配置。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い必要に応じてサービスや他機関を案内。
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月、子育て世代包括支援センターを設置した。 ・母子手帳交付時に保健師または看護師との面接を実施し、特定妊婦等について、関係機関を交えてケースカンファレンスを実施している。必要時に支援プランを計画し、その後の支援につなげる切れ目のない支援体制が構築できている。 	

草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠期からの虐待予防強化事業関係者会議 事例検討会 2 回 (R2. 6. 13 参加3名、R2. 11. 17 参加4名) ・ 小児慢性医療給付申請時の療養状況確認 (面接等の実施) (令和2年度末承認件数 517件) ・ 療養のおたずね 対象者37名中22名回収、ピアカウンセリングリーフレット送付 450名 ・ 管内 4 市の要保護児童対策地域協議会等に出席 (8 回)
越谷市医師会	越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。
吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児時間外診療事業として、14 医療機関に於いて、平日午後 7 時から 10 時まで当番制で実施した。(吉川 10 医療機関、松伏 4 医療機関) ・ 令和 2 年度は、240 日を実施した。また、受診者数は 181 件、電話相談 42 件であった。また、二次救急へ 18 件を紹介した。
草加八潮医師会	<p>草加市子ども急病夜間クリニック、八潮市休日診療に医師等を派遣するなど、積極的に関わり対応した。</p> <p>実績値 草加市子ども急病夜間クリニック 1,731 人/年 八潮市休日診療所 233 人/年</p> <p>※いずれも新型コロナウイルスの影響を受け、前年より減少している。</p>
三郷市医師会	日曜・祝日の休日診療所の運営、平日夜間の輪番制による小児時間外 (初期救急) 診療及び土曜日夜間の休日診療所を利用しての同診療体制の実施。
越谷市歯科医師会	二次医療機関に紹介状が必要な外傷等の口腔外科領域は、越谷市において病院歯科がありません。また口腔がん等の入院が必要な歯科医療は、近隣の草加市立病院、春日部市立医療センターの歯科口腔外科と連携し医療体制の充実を図っています。
春日部市薬剤師会	小児救急夜間診療所への薬剤師派遣、休日当番医に合わせ休日当番薬局を輪番制で開局した。
春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所 (内・外・小児) 実施。72日開所、受診者数1,812人 (小児のみ)。 ・ 平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所 (年末年始を除く)。243日開所、受診者数281人。 ・ 東部南地区 (6市1町) による小児二次救急・・・6医療機関により夜間365日+祝休日昼間72日実施。救急搬送人員数2,003人。
草加市	<p>夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため、「子ども急病夜間クリニック」を運営し、365日診療の対応をした。</p> <p>令和2年度クリニック利用者数 1731名</p>
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日当番医制事業 (休日、年末年始) を実施した。 ・ 越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。 令和2年度 受診者数 1,041人 ・ 埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。 また、越谷市立病院も輪番制病院として参加した。
八潮市	<p>日曜、祝日、振替休日及び年末年始に初期救急診療 (休日診療所) を実施した</p> <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳未満 18人 ・ 1歳～就学前 91人 ・ 小学1年～15歳 27人
三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児時間外 (初期救急) 診療事業を当番医療機関で実施した。253人 (月～土曜日の19時～21時まで実施) ・ 休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。663人 (日曜・祝日・休日及び年末年始の昼間は10時～12時と14時～16時、日曜の夜間は18時～21時) ・ 埼玉県東部南地区の構成市町 (6市1町) と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施。

② 小児救急医療体制の維持・充実

② 小児救急医療体制の維持・充実	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療を松伏町と連携し、吉川松伏医師会の協力のもと実施。14医療機関（吉川10医療機関、松伏4医療機関）平日午後7時から10時まで当番制で実施した。 ・埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療を吉川市と提携し、吉川・松伏医師会の協力を得て実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町（6市1町）と連携し、小児救急医療支援事業（二次救急）を実施した。
	春日部保健所	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。
③ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発	越谷市医師会	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かりやすく、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。
	草加八潮医師会	草加市、八潮市からの情報提供、健診事業、予防接種事業等への協力を積極的に行った。
	三郷市医師会	市及び医師会ホームページでの小児救急医療に関する案内。
	越谷市歯科医師会	越谷市内の保育所歯科医（公・私立）学校歯科医が健診。保育所での講話、学校保健会等で、教職員、保護者に健診結果の対応方法、受診方法の情報提供を行っています。また緊急時の歯・口のけがへの対応も併せて行っています。各医療機関に於いて適切な情報提供を行っています。
	春日部市薬剤師会	小児救急夜間診療所、休日当番医、休日当番薬局の運用状況の案内、かかりつけ医を持つことを啓発した。
	春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報9月号において、小児救急夜間診療所、休日に実施している在宅当番医、二次救急医療及び適切な受診方法について周知。 ・令和2年度ゴミニケーション・健康情報カレンダーに「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」の啓発文を掲載し周知。 ・市広報、公式ホームページ等により、「埼玉県救急医療相談」の周知。
	草加市	・広報やホームページを通じて、急な病気やけがへの対処方法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。
	越谷市	・広報誌やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談（#7119）や夜間急患診療所の情報提供を実施した。
	八潮市	・市の広報誌やホームページに埼玉県小児救急電話相談（#7119）や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	三郷市	・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、当市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	吉川市	案内配布やポスター掲示などにより埼玉県救急電話相談（#7119）を周知。 ホームページおよび広報誌へ掲載
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成し、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、広報誌やホームページ等に当番表を掲載した。 ・小児救急電話相談（#8000）を広報誌やホームページ等に掲載し、適切な受診方法の啓発に努めた。
春日部保健所	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。	

【2 生活習慣病を踏まえた健康づくり対策】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会、市町、保健所＞

① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	吉川松伏 医師会	・市と町と連携し、ノルディックウォーキングなどの促進のために、医療機関窓口にはポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。
	草加八潮 医師会	生活習慣病予防に向けて正しい知識の普及啓発など、草加市、八潮市で実施する市民健康教育公開講座等に積極的に協力した。
	越谷市 歯科医師会	「お口と栄養と運動の元気塾」（介護予防教室）の開催。一フレールを予防しようーオーラルフレールの重要性について理解していただき実際にアセスメントを行い評価し、普及啓発を行いました。令和2年度も継続して行っています。歯科衛生士による出張講座も行っています。
	春日部市 薬剤師会	服薬指導と共に食事・運動等の助言をした。
	草加市食生活推 進委員会	ヘルシー料理教室、男性料理、会員実習、イベント等新型コロナウイルス感染防止のため実施が制限され、例年通りの普及がむずかしい状況でした。
	越谷市食生活推 進委員会	・7月15日 和食のすすめ料理教室、骨粗とロコモ予防 参加者16人 ・9月23日 野菜料理教室 参加者20人 ・11月25日 カロリー控えめ料理教室、地産地消 参加者26人 ・9月30日、10月7日、10月28日 生活習慣病予防料理教室 参加23人(10月7日は訪問活動 37人)
	春日部市	【健康課】 ・生活習慣病予防教室(お手軽クラス)…健康講話と運動または調理実習 年4回 対象20歳から64歳 参加者：29人 ・生活習慣病予防教室(ヨガクラス)…健康講話とヨガ 年4回 対象20歳から59歳 参加者数：34人 ・骨密度測定会…骨密度測定と集団指導 対象20歳以上 年6回 参加者数：326人 ・健康長寿サポーター養成講習…年7回 参加者数：110人 ・ウォーキング教室…実施日：10月31日 参加者数：37人
	草加市	・ヘルシー料理教室2回延べ20人参加 ・親子料理教室2回延べ22人参加 ・ヘルスマイト養成講座4回コース延べ48人参加 ・食生活改善推進員定例会において栄養講話7回85人 ・心と体をはぐくむ幼児と家族の食事のレシピ集作成配布5000部 ・特定健診後の生活習慣改善のためのヘルスアップ教室3回36人参加 ・高年者ストレッチ体操教室2コース×5回延べ321人参加 ・介護予防教室肩こり・腰痛予防体操教室2回延べ40人参加 ・保健センターだよりを年4回発行、成人式号・獨協大学入学式号の発行

① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供

越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進を図るために調理実習を行った。 男の料理教室2回、18人参加。ヘルシークッキング4回、41人参加。 ・市民健康教室12回、118人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 チーム-3キロ講義2回、37人参加。 (R2年度はコロナ対策のため、講義は2回のみ行い、それ以外は動画を配信する形で実施した。) ・運動セミナー1回、16人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 健康体操教室16回、476人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室10回、90人参加。
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・年間8回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康相談において個人に合わせた保健指導を実施した。 ・健康講座（運動、栄養、疾病予防）等を実施し、食生活、運動などに関する知識の普及や情報提供を行った。 ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会にて食生活の改善に関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講習会を実施した。3日間で延82名が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ、ポスター等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・出前講座等で生活習慣病予防についての講話や「健康長寿サポーター養成講習」を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知に健康情報を掲載し情報提供を行った。
三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 三郷市民の歌に合わせて、歌いながら楽しく身体を動かせる体操を普及及び推進した。 また、市民向けの普及講習会3回を2クール実施した。 ・たばこの害を周知 ①乳児健診会場に受動喫煙に関するパネルを展示した。 ②ハローベビー教室の会場で、たばこの害に関する啓発品の展示を行った。 ③「喫煙と健康」のパンフレットを作成し、母子健康手帳発行時と健康づくり協力店に配布した。 ・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行った。延参加者数：106人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：36人 ・三郷市体力向上推進委員会（市内小中学校から各1名参加）を開催し、児童生徒の体力向上や健康教育に関する研修を実施した。
吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターに「食育コーナー」を設置。出前講座等により知識の普及を実施。 ・H30年度に作成した「健康メニュー」に掲載しているメニューの作り方動画を市公式Youtubeチャンネルに投稿。市役所のデジタルサイネージで動画を流して周知。
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員と連携し、食に関する正しい知識の普及や食育への関心を高めることを目的として料理教室や広報で掲載したメニューの動画撮影を実施した。 ・生活習慣病予防、介護予防として『気軽にノルディックウォーキング』を実施した。なお、運動前に保健師等による健康講座を実施し、健康に関する情報を発信し、様々な情報について参加者からのクチコミ等により、広く町民に伝わるよう草の根的な活動をした。（新型コロナウイルス感染症の流行を受け、一部縮小して実施した。）
草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導（延35人）、給食施設指導（94施設）を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者に配布した。 ・管内市栄養士への効果的な健康長寿推進のための会議はヒアリングフォーマットによる書面開催とした。（年1回 管内4市）
春日部保健所	<p>給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため事業方法の変更・縮小。</p> <p>「食のリスクコミュニケーター研修会」（ZOOM形式）、「健康長寿サポーター養成講習」・「地域活動栄養士会定例会」（回数減）、「福祉施設新規指定・更新指定事業者説明会」（資料配布）等（計20回 延べ336名）</p>
越谷市医師会	<p>当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。令和2年度実績は、施設健診・集団健診合計38,323人。</p>
吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 19日間実施 2,043件 ・吉川市個別 16医療機関で実施 4,565件

② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進

草加八潮 医師会	草加市、八潮市からの情報提供、健診事業、予防接種事業等への協力を積極的に行った。
三郷市 医師会	集団・個別特定健診及び特定保健指導の実施。
越谷市 歯科医師会	歯周病検診において歯周病と全身の状態との関連に理解周知してもらい生活習慣病の早期発見・早期治療に努めます。
春日部市	<p>【国民健康保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診：令和2年8月1日～12月10日まで市内医療機関（65医療機関）で実施。 受診率44.3%（令和3年8月26日現在） ・特定保健指導：動機付け支援は市内医療機関（特定健診を受診した医療機関）で実施。 積極的支援は業者委託で実施。 ※緊急事態宣言にて、令和2年度の健診期間の遅延により最終報告は未
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・40～74歳の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診の受診券を送付した。 ・特定健診の受診勧奨チラシを作成の上、保険証の一斉更新時に対象者の封筒に同封し受診勧奨した。 ・生活習慣病のリスクが高い受診者に対し、保健指導を実施し、早期の段階での治療を促進した。
越谷市	<p>《特定健診の実施》</p> <p>【実施期間】6月1日から11月10日</p> <p>【個別健診】市内91医療機関で実施</p> <p>【集団検診】9月上旬から10月までの土曜日を含む38日間、市内公共施設で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全対象者へ受診券、受診案内、生活習慣病予防リーフレットを送付（53,483件） ・特定健診項目に血清クレアチニン、eGFR、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査（後期高齢者は除く）を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 <p>《受診促進》</p> <p>【広報活動】市ホームページ（期間中）、広報誌（6月号、8月号）、メール配信サービス（1回）、特定健診受診啓発ポスターを実施医療機関91箇所と自治会に配布、越谷商工会議所広報誌（9月号）・JA越谷市の広報誌（8月号）に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知（市内全域）、健診受診啓発カード（名札貼付用）着用（8月から10月）</p> <p>【受診勧奨キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話による受診勧奨（コールサービス）（40歳代・50歳代を中心とする800件） ・特定健診受診啓発うちわ（3,000枚）を作製 ・特定健診受診啓発車両用マグネットシートを公用車に貼付 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、ハガキや電話による利用勧奨を行った。 <p>《健康診査、保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 受診者数341人（受診率10.9%）。保健指導実施者数1人（実施率0.3%）。
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月広報やしおに国保コーナーを設けて、特定健診・特定保健指導の受診（利用）勧奨や健康管理の重要性などの記事を掲載している。 ・市ホームページに、特定健診の受診勧奨に係るコンテンツを掲載した。 ・メール配信サービスで特定健診の受診勧奨を実施した。 ・特定健診受診啓発ポスターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 <p>●特定健診（受診者数 4,169名）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己負担金のワンコイン（500円）化及び40歳の自己負担金無料化 ②受診期間中の電話勧奨の実施 ③未受診者へ再勧奨はがきの送付 <p>●特定保健指導（終了者数 44名）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保健指導未利用者へは再募集を実施 <p>●人間ドック・脳ドック補助金助成事業（申請者数 92名）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①満40歳以上の国保被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックに要した費用の7割（上限25,000円）を助成する。

② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・レディースデイを設け、女性が受けやすい体制を整備した。 ・30代健診結果で特定保健指導基準に該当（年齢以外）するものについて、個人の特性に応じたパンフレットの同封と生活習慣改善に関するコメントを記載し送付した。 ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を送付した。 発送数：544件 ・新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、個別方式は開始日を延期し、集団方式は実施期間と1日当たりの受診者数を縮小した。 ・集団方式の実施期間と1日当たりの受診者数を縮小に伴い、集団方式希望者に対し意向調査を実施した。（集団方式を希望・個別方式に変更・令和2年度は受診しないの3択から選択） ・検温、換気、会場を消毒等、感染防止策を実施。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導率の向上のため、アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取組を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の都合に合わせ、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、通常では保健師・栄養士による生活習慣病予防についての講話を実施（町統計データ等）していたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため未実施。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診勧奨を実施した。 ・特定保健指導対象者に保健師・栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または、資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市へ特定健診啓発用のぼり旗の貸し出しを行った。 ・HACCP支援講習会を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った（年3回 77人）。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・県国保医療課及び埼玉県国民健康保険団体連合会と連携し実施している「データヘルス推進に係る拠点保健所別研修会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県等独自で参加者を限定して実施。
③ がん検診受診率の向上	越谷市医師会	各種がん検診実施医療機関には実施内容ポスターを院内掲示してもらい、来院者への受診推進啓発活動を行っていただいている。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 4, 346件 ・吉川市個別 16医療機関で実施 5, 345件
	草加八潮医師会	がん予防に向け、草加市、八潮市と協力し、積極的な普及啓発に力を注いだ。 ※草加市においては、胸部×線二次読影会を、令和2年7月から10月に計12回実施した。
	三郷市医師会	集団・個別がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮）の実施。
	越谷市歯科医師会	口腔がん検診は、平成24年5月1日より診療所単位で個別に行われ、市民の関心は益々高まり受診者数も増加しています。重症化させないために継続して普及啓発を行っています。今後は、通年において検診できればと願っており継続して行政と協議していきます。

③ がん検診受診率の向上

春日部市	<p>【健康課】各がん検診について受診勧奨通知を送付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診…50歳・55歳・60歳の方（9,609人） ・乳がん検診…40歳～60歳の偶数年齢の方（16,478人） ・子宮がん検診…25歳・30歳・35歳・40歳・45歳の方（6,145人） ・肺がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者（全員） ・大腸がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者（全員） ・その他（全がん検診の受診案内）…40歳の方（2,684人）
草加市	従来のはがき、窓口での申し込みに加え、電子申請による申し込みを開始し、個別検診の受診がしやすいよう環境を整備した。
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメールの掲載や、個別勧奨ハガキを通知した。 ・胃がん検診 受診者数12,067人（受診率5.9%）。 ・子宮頸がん検診 受診者数10,439人（受診率7.2%）。 ・乳がん検診 受診者数4,984人（受診率10.9%）。 ・大腸がん検診 受診者数19,536人（受診率9.5%）。 ・肺がん検診 受診者数23,923人（受診率11.6%）。
八潮市	<ol style="list-style-type: none"> ①子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券や受診勧奨通知の送付 ②胃・肺がん検診の受診勧奨通知の送付 ③40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ④精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握
三郷市	・広報やホームページでがん検診の日程や受けかた等を掲載し、申込はがきを「健康のしおり」に折込み全戸配布し、公共施設や医療機関にも設置し受診を促した。
吉川市	・乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん検診の受診勧奨を実施。
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時にがん検診受診勧奨を実施した。 ・集団健診時、がん検診も同時実施とし、受診しやすいよう、休日も受診可能とした。 ・乳子宮がん検診については、個別にハガキ案内及び対象者に無料クーポン券を発行し受診勧奨をした。 ・胃がん・大腸がん・子宮頸がんについては、個別検診も実施した。
草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP支援講習会を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った（年3回 77人） ・効果的に働く世代の健康づくりを実施するために管内市担当者を対象に健康課題対策会議をヒアリングフォーマットによる書面開催とした。（年1回 管内4市）
越谷市医師会	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。
吉川松伏医師会	・市と町と連携し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、医療機関への受診勧奨の対象となった方に対しての医療機関への協力周知を行い、糖尿病重症化リスクの高い方の人工透析への移行を防止するよう努めた。
草加八潮医師会	国民健康保険（草加市、八潮市）や各健康保険組合等で実施の特定健診事業に積極的に取り組み、また必要に応じて講演会等に講師派遣を行った。

④ 糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進

春日部市 薬剤師会	服薬指導を通じて、糖尿病の発症防止・重症化予防の啓発をしている。
獨協医科大学埼玉医療センター	糖尿病合併症外来「シラベル」の開設を行った。
春日部市	<p>【国民健康保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業（受診勧奨、保健指導、継続支援）を実施。 ・受診勧奨：未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者180人、受診中断者21人。 ・保健指導：糖尿病性腎症2期～4期の者に専門職（保健師・管理栄養士等）による保健指導を実施。 <p>通知発送数1012人、参加者数65人（参加率6.4%）、修了者数42人（修了率77.8%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続支援：保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。 <p>通知発送数72人、参加者数15人（参加率20.8%）、修了者数15人（修了率100%）</p>
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病のリスクがある未受診者や受診中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職による電話での受診勧奨を実施した。また、勧奨後も受診がない対象者に再度受診勧奨通知と、電話による受診勧奨を実施した。 ・糖尿病の重症化リスクの高い者に、保健指導プログラムへの参加通知を送付し、本人の同意と、かかりつけ医の推薦があった者を対象とし、保健指導を実施した。
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防の講演会を開催した。 ・糖尿病予防セミナー1回、50人参加。 ・糖尿病の重症化予防の講演会を開催した。 ・糖尿病と上手に付き合う方法論～コントロール編～1回、36人参加。 ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室を行った。1回、15人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。 ・講話編3回、53人参加。調理編1回、11人参加。 <p>埼玉県と国保連合会の共同事業に参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関未受診者への受診勧奨（194人） 受診中断者への受診勧奨（35人） ・保健指導（R2 申込者数39人）
八潮市	<p>埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同により「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。令和2年度は生活指導参加者1人への保健指導を実施した。</p> <p>①受診勧奨者数 99名 ②保健指導参加者数 1名 ③保健指導継続支援 1名</p>
三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 保健指導終了者数：12人 ・健診結果から、集団健診においてHbA1c8.0%以上の未治療者を対象として、保健師が訪問指導を実施した。訪問数：5件
吉川市	・特定保健指導を中心に糖尿病の発症及び重症化予防対策を推進。
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果により、糖尿病の発症予防を踏まえた特定保健指導を実施した。 ・糖尿病予防のために教室を案内し、実施した。
草加 保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿課主催の糖尿病性腎症重症化予防対策に係る二次医療圏単位の対策会議（東部医療圏）は新型コロナウイルス感染拡大により書面開催となり、糖尿病性腎症重症化予防施策の実施状況について情報共有を行った（年1回）。

【3 心の健康対策】

【主な取組】 <実施主体：医師会、薬剤師会、病院、民生委員・児童委員協議会、市町、保健所>

① 精神保健に係る関係機関との連携強化	越谷市医師会	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉県福祉部嘱託医（更生相談）等に対し、順天堂大学医学部付属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。
	草加八潮医師会	草加市、八潮市と協力しながら、心に悩みを持つ方やその家族等に対して、精神科医等による適切な相談や診断を行った。 ※産業医の派遣等にも積極的に関わった。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関間の情報共有及び連携の強化。
	越谷市歯科医師会	主な実施主体に歯科医師会が除外されていることは、残念です。歯科医師もお互いの役割・機能を理解し協働できるよう、図ることが重要と捉えています。
	春日部市薬剤師会	地域ケア会議に毎月参加し、多職種との連携を図った。
	獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉東部地域の保健所、医師会、薬剤師会、市町との連携の下に、診療と医療連携を通して、情報交換を行った。
	草加市立病院	精神科の専門クリニック・病院へ紹介している。
	春日部市	【健康課】 ・地域支援生活センター主催の関係者連絡会に参加…参加機関：市保健福祉部門職員、月1回 【障がい者支援課】 ・保健所、相談支援事業所、市の関係課が参加し、お互いの機関の役割の確認や情報共有を行った。
	草加市	・高齢化、重複障害、子育てなど家族が抱える問題が多様化しており、世帯全体への支援が必要な事例が増加しているため、保健所、医療機関、相談支援事業所、包括支援センター、子育て支援センター、訪問看護事業所等と連携し、情報共有のほか役割分担、方針の統一を図った。

① 精神保健に係る関係機関との連携強化	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースカンファレンス 関係機関と随時ケースカンファレンスを実施し支援体制を確認し、必要に応じ受診援助や同行訪問等を行った。 庁内：障害福祉課、生活福祉課、地域包括総合支援センター、教育センター、消防本部等 庁外：精神科医療機関、警察署、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、児童相談所等 ・自殺対策 市内三次救急医療機関及び消防本部と連携し、自殺未遂者相談支援事業を実施した。同意の取れた自殺未遂者又はその親族等に対し、病院等で面接相談を行い6ヶ月以上継続支援を実施した。また、不搬送者に対し、救急隊より再企図防止メッセージカードを配付した。 (支援件数：22件) ・自殺予防普及啓発 コロナ感染症の影響から市内駅頭キャンペーンを実施できなかったため、東武鉄道株式会社と連携し、市内小中学校美術部による「いのちを大切に」をテーマとした作品を市内5駅構内に展示した。 (展示期間：2月26日～3月29日)
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保健所や医療機関、相談支援事業所等と連携を図った。 ・自殺対策庁内連絡調整会議を開催した。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、医療・福祉・介護等を含めた協議の場を設置し、検討を進めてきた。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者家族会への補助金支出など支援を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。 ・年3回、関係機関と精神連携ケース会議を実施した。また、会議の中で勉強会を実施し精神保健に関しての情報共有を行った。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・医療観察法ケア会議（計8回出席） ・吉川市地域福祉計画推進協議会、障がい者計画推進協議会、自立支援協議会相談支援部会出席（計3回） ・八潮市地域包括支援センター協議会、自立支援協議会等出席（計3回）
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有を連携を強化することを目的に事業を実施。 ・市町精神保健福祉連絡会への参加（16回） ・春日部市保健センターとの精神保健勉強会（3月23日 参加6人） ・保健所管内精神保健連絡会の開催（3月17日 書面開催）
② 精神保健に係る情報提供や相談体制の充実	草加八潮医師会	草加市、八潮市が実施する「こころの健康相談」に精神科医等の派遣など、協力しながら事業を進めた。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
	越谷市歯科医師会	歯科医療を受ける方は、健常者だけでなく歯科医師も精神保健に対し周知し理解が必要で研修等行っていきます。
	春日部市薬剤師会	かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師として体制強化した。
	獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉東部地域の保健所、医師会、薬剤師会、市町との連携の下に、診療と医療連携を通して、情報交換を行うとともに、セカンドオピニオン外来にて相談体制を充実させた。

	草加市立病院	退院患者に精神疾患がある場合、症状に合わせ医療機関と調整を行っている。
	春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉連絡会（研修）…対象：市職員（保健福祉部門）、実施日：9月10日、参加者：13人 ・メンタルヘルス講演会…対象：市民 実施日：3月27日、参加者：16人 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：地域包括支援センター 実施日：11月4日、参加者：27人 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：市職員、実施日：8月31日、10月9日、11月16日、12月10日、12月17日、12月23日 参加者：107人 ・こころの健康相談…毎月3回実施、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師による相談、年43件 ・新成人向けのリーフレット配布…成人式にてリーフレット配布：1,092部 ・こころの体温計…メンタルヘルスチェックシステム 通年 アクセス数：24,389件
	草加市	・援護の案内を改定した。
②	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健相談窓口案内用リーフレットを作成し、来訪者や庁内外関係機関へ配布した。 （こころの健康に関する相談件数（面接、電話、訪問）：計6,388人） ・精神保健困難事例について専門家によるスーパーバイズを受け、支援者のスキルアップを図り相談体制の充実を図った。 （精神科医師による専門相談：6回、内訳：訪問相談5件、面接相談1件） （臨床心理士による専門相談：6回、内訳：検討事例10件） ・自殺未遂者相談支援事業を実施し、三次救急医療機関及び消防本部との連絡報告会を計3回実施することで、自殺対策に関わる相談支援体制の充実を図った。 ・ひきこもり家族教室、うつ病家族教室、アルコール依存専門相談を実施し、ひきこもりやアルコール関連問題、精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発を行った。 （ひきこもり家族教室：1回、18人 うつ病家族教室：3回、計37人） （アルコール依存専門相談：1回、1組） ・SOSの出し方に関する研修を、市内中学生を対象に実施した。 （実施日：12月21日、3月2日、計363人）
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・HPでの知識、情報提供。 ・毎月1回、精神科医によるこころの健康相談の実施。 ・八潮市障がい者総合相談窓口にて相談体制の充実を図った。 ・市内相談先一覧を作成し、窓口にて配布を行った。 ・随時、保健師、精神保健福祉士による相談を実施。 ・市独自のゲートキーパー手帳を作成し、ゲートキーパー養成講座受講者に配布した。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、各種相談機関を掲載したパンフレットを差し込んだポケットティッシュやクリアファイル作成し、市民に配布した。 ・精神保健福祉士によるゲートキーパー養成講座を、市職員向け、中学校教職員向けに計2回開催した。 ・「こころの健康づくり～ゲートキーパー養成講座～」を含む計4講座を、市民向けの出前講座として市民団体やグループを対象に実施している。
	吉川市	・相談事業について広報掲載。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、相談者へ必要な情報について提供した。 ・民生委員の定例会に参加し、こころの健康及び自殺対策に関する相談先や保健センター事業等を紹介し、相談先一覧のチラシを配布した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談（精神科医による相談） 新型コロナウイルス感染拡大により4月～11月及び1月～2月休止。（実績0件） ・ひきこもり対策事業 ひきこもり専門相談（臨床心理士による相談）4月から5月まで休止（相談延数25人） ・保健所職員による相談：訪問284件・面接284件・電話等2,297件 合計2,865件
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・県東ブロックの保健所間で精神保健福祉業務に関する情報交換を実施。 ・県東精神保健福祉業務ブロック会議の開催（5～6月 メール会議）

② 精神保健に係る情報提供や相談体制の充実

③ 退院後の地域支援体制の充実強化	草加八潮 医師会	相談者の状況に応じて、要医療、生活指導、状況観察など必要な助言等を行った。
	三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる退院後の往診等のサポート。
	越谷市 歯科医師会	退院後の支援体制として歯科医療ができることを考え充実強化していきます。
	春日部市 薬剤師会	令和3年8月1日の施行に向けた地域連携薬局※としての機能と体制強化に努めた。 (※地域連携薬局とは、外来受診時だけでなく、在宅医療への対応や入退院時を含め、他の医療提供施設との服薬指導の一元的・継続的な情報連携に対応できる薬局)
	草加市	・退院前から医療機関を訪問し、本人を含め支援体制について関係機関と検討し、地域で安定した生活が送れるよう、サービス調整を行った。
	越谷市	・措置入院解除時は県保健所開催の調整会議に出席した。措置入院解除後は退院前にケースカンファレンスを実施し、退院後の地域生活支援体制を整えた。また、退院後も面接や訪問等で定期的に状況を確認し、必要な支援を再調整した。
	八潮市	・基幹相談支援センターを中心に、相談支援事業所や医療機関等と連携を図り、退院後の支援体制について調整を行った。
	三郷市	・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた。 ・退院促進や地域生活の定着を目的とする「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、検討を進めてきた。
	吉川市	・必要に応じて病院や地域移行支援事業者などと個別会議を実施。
	松伏町	・必要時、退院時カンファレンスの内容について情報提供を受け、地域での生活を支援できるよう努めた。
	草加 保健所	以下の会議等はコロナ対応のため、アンケートを配布し書面会議とした。 ・精神障害者地域支援体制構築会議 ・精神障害者に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修
春日部 保健所	退院後に必要な医療等の支援を継続的に受けられるようにすることで、社会復帰の促進等を図ることを目的として事業を実施。 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催（書面開催） ・精神障害者支援地域協議会（調整会議）の実施（59回）	

【4 健康危機管理体制の整備充実】

【主な取組】＜実施主体：医師会、薬剤師会、病院、市、保健所＞

① 地域における健康危機管理体制の充実強化	草加八潮医師会	草加市、八潮市それぞれ地域防災計画を策定しており、防災会議等に医師会として委員を派遣、大規模災害（地震、風水害）への対応を想定した意見交換や訓練にも参加した。
	吉川松伏医師会	・吉川市、松伏町の地域防災計画改定などの策定などに対して、策定委員等を当会より推薦し派遣している。
	越谷市歯科医師会	まずは、地域における健康危機管理体制についての理解と関係機関との情報共有方法、有事で起こり得ることを想定して継続して協議することが重要。また、団体として何をすべきか、何ができるか整備検討致します。
	春日部市薬剤師会	行政や医師会その他の医療団体と連携し体制強化を図った。
	春日部市	【健康課】 ・災害時医療について春日部市医師会他関係機関との打合せ・・・1回 ・災害時用医薬品等備蓄業務委託・・・備蓄箇所数市内15か所
	草加市	・地域住民と連携し、感染症対策を盛り込んだ避難所運営訓練を実施した。 (実施日：柿木公民館11/15、稲荷小学校1/23)
	三郷市	・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：令和2年7月28日
	草加保健所	・全職員が非常時に行政無線及び非常用携帯発電機の操作、災害用備蓄物品の利用が可能になる体制を構築するため、所内で行政無線・備蓄物品確認訓練を実施した。 (実施日 令和2年6月25日・26日)
	春日部保健所	・健康危害発生時における緊急対応マニュアルを作成し所内に配布した。 (作成日：令和2年7月1日)
②	越谷市医師会	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図っている。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、薬剤師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。
	吉川松伏医師会	・災害医療委員会を設置して、定期的に災害時の医療救護体制の構築についての検討、医師会としてのトリアージ訓練を実施していたが、コロナ禍の中ということがあって、活動は行っていない。

大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組

越谷市 歯科医師会	有事において歯科医師会が何ができるかを常に考え行政が中心となり関係機関と協働し迅速な対応とれるよう協議していくことが重要です。
春日部市 薬剤師会	春日部市災害時用備蓄医薬品を14薬局で循環備蓄し、発災時に医療救護所に提供する体制を整えている。 災害時医療救護訓練に参加した。
獨協医科大学埼玉医療センター	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、規模を縮小した形で令和2年11月18日に災害対策訓練を実施した。 また、災害対策委員会を実施し、令和3年度中に災害対策マニュアルの改定を行う予定。
草加市立病院	令和2年11月、夜間想定の大規模災害被災者患者の受け入れ及び対応訓練を実施。 BCP委員会を立ち上げ改正に向けて活動中。
春日部市	【健康課】 5師会等との連携により、大規模災害発生を想定した医療救護訓練（参集及び通信訓練）の実施・・・令和2年11月15日（日）春日部市立東中学校、58人参加。
草加市	・医療救護所に診察用パーテーション及び診察用ベッドを配備した。
八潮市	・県主催の大規模災害時対応研修に参加した。
三郷市	・医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会へ三郷市総合防災訓練への参加を依頼し、訓練内容について協議を行った。 （※三郷市総合防災訓練は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止）
越谷市 医師会	令和2年4月27日よりPCR検査センターを設置・運用を開始した。越谷市保健医療部と保健所を交え「感染症対策会議」を継続的に開催し、その時々課題解決へと繋がっていった。令和3年9月現在も対策会議は続いている。また、新型コロナワクチン医療従事者接種が年度末から始まり、その対応準備に忙殺された。越谷市では、基本型病院での接種の他に、医師会からワクチンを個別配送し70医療機関での医療従事者優先接種を速やかに実施できる体制を整えた。（実際は、ワクチンの入荷がままならなかったため、当初の予定から大幅に完了が遅れた）。このノウハウは、現在までの「越谷方式」の接種体制構築に役立った。
吉川松伏医師会	・新型コロナウイルス感染拡大として、医師会立のPCRセンターを平成2年5月に開設し、週2回～3回、吉川市と松伏町と連携し、PCR検査を実施している。 ・各医療機関と連携し、唾液によるPCR検査の実施の推進、手続き等を支援した。吉川市が17医療機関、松伏町が4医療機関となっている。 ・委員会を設置、開催し、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた検討を実施した。また、医師、看護師、行政職員とともに、集団接種のデモンストレーションを開催した。
草加八潮 医師会	国、県からの情報提供を元に、会員への周知・啓発を積極的に行った。
越谷市 歯科医師会	②同様行政が中心となりその時その時に応じた備え、また変化していく感染症対策に柔軟に対応する体制づくり重要で繰り返し協議致します。
春日部市 薬剤師会	行政からのインフルエンザ発生情報を共有し感染予防対策に役立てている。
草加市立病院	出入口に検温機を設置し、アルコール消毒も配置。
埼玉県看護協会	病院看護師間で「感染管理認定看護師」の派遣や指導を行ったり、病院見学などを通じて、情報交換や連携を強化した事例があった。その結果、東部地域においては、大規模な病院内感染は見られなかった。 春日部市立医療センター、草加市立病院との情報交換 春日部市立医療センター、春日部きせん病院とのコロナ病棟見学会や感染管理認定看護師等の指導など

③ 感染症対策の強化

③ 感染症対策の強化

春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、春日部市小児救急夜間診療所を利用し、発熱外来を実施し、発熱患者の診療及びPCR検査を行った。 ・平日昼間に224日開所、受診者数1,129人 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき備蓄品（医薬材料）を購入（ハンドジェル144本、サージカルマスク39,000枚、非接触体温計70本、消毒用エタノール370本、感染症対策（防護）キット40セット、オートディスペンサー10セット、体温計用乾電池200本、ディスプレイ50枚、電子体温計40本、聴診器8セット、アイソレーションガウン1,000着）
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスクやアルコール等の備蓄の補填や検温器の設置等を行った。 ・新型インフルエンザ等対応マニュアルの見直しを行った。
越谷市	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策に係る関係機関との連携、研修・訓練は実施できなかったが、指定感染症に対応すべく、医師会と連携し、診療・検査体制の整備を図ったほか、消防局と協力体制を構築し陽性者の搬送体制の強化を図った。</p>
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に八潮市新型コロナウイルス対策本部会議を開催した。 ・新型コロナウイルス感染拡大に備え、マスクやアルコール等の備蓄をした。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内公共施設にサーモグラフィーを設置するとともに公共施設で使用する非接触式体温計の貸し出し、消毒用アルコールの配布を行った。 ・感染防止について、ポスター・チラシ等を作成し、注意喚起を行った。また、適宜広報やホームページにおいても啓発を行った。 ・市役所庁舎に飛沫感染防止のため、アクリル板やビニールシートを設置した。 ・妊娠届出時に、妊婦へのマスク配布を行った。 <p>・新型コロナウイルス感染症による飛沫感染等を防止するため、避難者間のスペースを確保するためのパーティション及び避難所運営を行うための避難所運営小区員行動マニュアルを定め、避難所開設・運営、役割分担等の確認を行うための訓練を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各避難所へ感染対策セットの配備を行った。
三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市新型インフルエンザ等対応マニュアルの見直しを行った。 ・市ホームページやメール配信サービス等を活用し、市民へ新型コロナウイルス感染防止対策に関する情報提供を行った。 ・避難所を利用する市民や従事する職員を感染症から守るため、感染拡大防止のための物品や資機材等を整備した。 <p>消耗品：不織布マスク、手指用消毒液、防護服、非接触型体温計、折りたたみアルミマットなど</p> <p>備品：段ボールベッド、ファミリールーム（間仕切り）、二酸化炭素濃度測定器など</p>
吉川市	<p>新型コロナウイルス感染症対策として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策について広報・ホームページ・ポスター掲示等での周知 ・新型コロナウイルス対策会議や新型インフルエンザ等対策本部会議において新型コロナウイルス感染症に関わる市の対応を決定し、市民への周知、各課対応。 ・妊婦へのマスク配布 ・市内医療機関等へ消毒薬の配布 ・PCR検査センター設置に向けての体制づくり、医師会運営への支援
松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策本部を設置、対策会議を開催し、庁内事務や事業実施における新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた。
草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度感染症発生状況 3類：9件、4類：9件、5類：25件（2類：結核を除く） ・令和2年度結核新登録患者数：72人 ・新型インフルエンザ協力医療機関の対象機関と「感染症担当者連絡会」を実施し、新型コロナウイルス感染症の発生動向及び対応状況について情報共有した。（令和2年7月17日） ・新型インフルエンザ等対応訓練として、保健所職員による防護服着脱訓練、入院先医療機関までの患者搬送についての実地訓練を実施した。
春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症患者対応及び積極的疫学調査を実施し、陽性者に対する迅速な措置、関連する医療機関との連携により、感染拡大防止への対応を実施した。
草加八潮医師会	<p>国、県からの情報提供を元に、会員への周知・啓発を積極的に行った。</p>

④ 食の安全・安心確保	草加市	・8月の食品衛生月間に合わせて、広報誌やホームページにおいて、食中毒予防の周知を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。 (1,307施設) ・市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。 (82検体、3,912項目数) ・食品関係業者等への衛生教育を実施した。 食品業者や従業員等に対して、食中毒予防のための講習会を実施した。 (衛生講習会実施数19回、参加者数319名)
	三郷市	・庁内の管理栄養士・栄養士が集まり、定期的に会議を開催し会議内で災害時の栄養食生活支援について検討中である。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP導入の普及・啓発：営業許可更新時の周知施設512施設 ・施設に対する重点的・専門的な監視指導：①生の野菜等を加工提供する施設の監視：78施設 ②生食用食肉提供施設の監視：17施設 ・食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施2回
	春日部保健所	食品等事業者等に向けてHACCP（ハサップ）導入支援等講習会を22回実施し、321名が参加した。

【5 在宅医療の推進】

【主な取組】 <実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会、市町、保健所>

① 在宅医療・介護の連携の推進	越谷市医師会	「地域包括ケア推進のための在宅医療提供体制充実支援事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施している。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネートをを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に腐心する毎日である。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診医の紹介など在宅医療に関わる相談業務を行った。 ・ 在宅療養支援支援ベッドの確保、調整を行った。 ・ 「医療機関連絡窓口の情報一覧」を作成・更新した。 ・ 医療・介護従事者向けコミュニケーション研修をオンライン開催した。 ・ 吉川松伏在宅緩和ケア地域推進委員会を開催した。
	草加八潮医師会	本医師会に在宅医療委員会を組織し、会員間、各事業所等への情報提供や意思疎通、連携を図るとともに、草加市、八潮市との各種事業実施への協力を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる医療・介護連携の推進。
	越谷市歯科医師会	「越谷市地区在宅歯科医療推進窓口」「越谷市の地域包括支援センター」「越谷市医療と介護の連携の会」と連携し、情報を共有し顔の見える関係を築くことを歯科医療従事者に周知しました。在宅医療において、看取り、ターミナルケア等に歯科医療がどの様に関わっていくか検討していきます。
	春日部市薬剤師会	地域連携薬局としての機能を充実させた。
	獨協医科大学埼玉医療センター	越谷市入退院支援ルール作成に参画し、円滑な入退院に資する仕組みづくりを進めた。 令和2年11月2日／令和2年12月2日／令和3年1月28日
	埼玉回生病院	地域包括ケアシステムを推進するために、高齢者が住み慣れた地域や自宅で日常生活を送ることができるように、地域内の医療機関と介護事業所が連携し、効率よくサポートできる体制を段階的に進めている。
	草加市立病院	各病棟に退院支援看護師を配置し、地域や医療・介護のおける関係機関へ適時適切に連絡を行っている。そして退院時には関係機関へ看護サマリーを送付している。
	春日部市	<p>【介護保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護関係者を対象にオンラインで「春日部市医療介護職連携研修・交流会」を開催した。 実施日（参加者数）：11月10日（463人） ・ 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会出席者を対象にアドバンスケアプランニングについての研修会を開催した。 実施日（参加者数）：2月19日（23人） ・ 春日部市在宅サービス多職種連絡協議会出席者を対象に春日部市在宅緩和ケア地域連携推進会議兼研修会を開催した。 実施日（参加者数）：3月16日（28人）
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護多職種協働研修会 オンライン研修会 10/20～10/27、11/9～11/24 医療・介護関係者 117回視聴 	

① 在宅医療・介護の連携の推進	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の介護保険法改正により、在宅医療・介護連携推進事業は市町村が主体的に取り組む事業として位置付けられ、本市では平成30年度から国が定める8つの事業（下記ア～ク）全てを所管し実施している。 (ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (カ) 医療・介護関係者の研修 (キ) 地域住民への普及啓発 (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携に関する現状把握や課題抽出のため、医療・介護等の関係機関を構成員とする在宅医療・介護連携推進会議を開催した。 (第1回会議：6月26日、参加者14名) (第2回会議：9月25日、参加者13名) (第3回会議：3月26日、参加者14名)
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> 退院調整ルールを作成、配布。 ACP、ターミナルケアに関する講演会を年2回開催。（主体：医師会）
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に医療介護資源情報提供システムを開発し、運用を実施している。 在宅医療連携拠点において、療養支援ベッドの確保・往診医及び患者登録を継続的に実施した。
② 在宅医療連携拠点の充実	越谷市医師会	「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催中。拠点運営に係る協議を行っている。出席者は、越谷市役所、越谷市医師会在宅医療担当役員および医師、拠点職員。また、越谷市地域包括ケア推進課との毎月の会合実施。コーディネータースタッフも増やした。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度より市町の受託事業により、平日9時～17時、コーディネーター（看護師、介護支援専門員）、2名体制で運営している。 在宅医療、介護連携に関わる相談業務・往診、訪問診療医、患者登録支援業務・在宅療養支援ベッド確保業務・在宅療養に関わる普及啓発業務・多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種の連携につながる研修の開催などを計画、実施している。
	草加八潮医師会	草加市、八潮市からの委託を受けている「在宅医療サポートセンター」事業を運営し、市民からの医療に関しての各種相談、地域包括支援センターをはじめとした介護関連事業所との調整を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる後方支援ベッド体制等の充実化。
	越谷市歯科医師会	越谷市地区在宅歯科医療推進窓口を軸に、他職種団体と密に連携を図り情報を共有しています。また、情報共有の評価が必要と思われる検討していきます。
	春日部市薬剤師会	地域ケア会議に参加し地域連携薬局の充実を図った。
	獨協医科大学埼玉医療センター	従来医療保険の被保険者のみを対象としていた訪問介護について、介護保険の被保険者にも適用を拡大した。
	埼玉回生病院	八潮市地域包括支援センター運営会議に職員を派遣し、医療、保健、福祉の各関係機関との連携がスムーズに運用できるように関係調整を図っている。
	草加市立病院	草加市在宅医療・介護連携推進協議会の委員として、会議に参加している。議題内容としては、在宅医療・介護連携推進事業における課題と対策、在宅療養リーフレット作成について等である。
春日部市	<p>【介護保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。（相談件数：46件） 	

② 在宅医療連携拠点の充実	草加市	・草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置している。
	越谷市	・上記（ア）～（キ）の事業を越谷市医師会に委託しており、医師会内に設置された「越谷市医療と介護の連携窓口」が在宅医療連携拠点として事業を実施した。
	八潮市	・在宅医療サポートセンターを相談窓口として、市民および地域の医療・介護関係者（地域包括支援センター・ケアマネジャー等）からの医療相談に対応。 ・退院時等の医療と介護の連携調整や在宅医療を希望する患者を往診医につなぐなどの対応。 （相談件数：146件）
	三郷市	・三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。
	吉川市	吉川松伏在宅医療サポートセンターは吉川松伏医師会に委託し、平成30年4月から運営されている。
	松伏町	・在宅医療連携拠点「吉川松伏在宅医療サポートセンター」の運営を地域支援事業として平成30年度から医師会に業務委託を実施している。
③ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援	越谷市医師会	医療連携に係る窓口相談受付業務。多職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため情報を共有している。ホームページは行政、事業所にもリンクできるようにした。窓口図書室を始めて希望者に貸し出しをしている。MCS積極活用の推進活動も行っている。
	吉川松伏医師会	・医療、介護従事者より電話、FAX等にて相談を受けている。令和2年度の相談件数は、115件であった。 ・医療、介護などに関わる情報提供は、ケアマネ会などにて配布、郵送、FAX、市町で管理している情報公開システム（ケア倶楽部）に掲載した。 ・サポートセンターの拠点通信、MCSで情報提供・情報の共有をしている。
	草加八潮医師会	埼玉県、草加市、八潮市、各団体等が実施する講演会や研修会、会議等に積極的に参加、出席することで、情報共有、相談体制の充実に務めた。 ※マンパワーも限られており、ニーズに応えるべく活動範囲を拡大すれば拡大するほど、業務多忙になり時間調整が困難になるという厳しい現実がある。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる多職種連携に主眼を置いた研修会等の定期的な開催による支援体制の強化。
	越谷市歯科医師会	越谷市地区在宅歯科医療推進窓口を軸に、困難事例等情報共有し課題解決にとり組んでいます。在宅歯科健診・在宅歯科訪問診療の申し込み書を作成し、関係団体へお配りし情報を共有しています。
	春日部市薬剤師会	ICTを活用し、多職種との情報共有、連絡を図った。
	埼玉回生病院	当院においては、居宅介護支援事業所や通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、訪問診療、訪問薬剤等の訪問系事業所併設という特徴を活かし、円滑に医療から介護への移行支援が可能となっている。また、居宅介護支援事業所は、24時間の支援相談体制を整えている。

③ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援	春日部市	【介護保険課】 ・地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。 実施日（出席者数）：4月13日（25人）、5月20日（27人）、6月19日（25人）、7月17日（26人）、9月15日（25人）、10月20日（27人）、11月16日（24人）、12月9日（25人）、1月19日（25人）、2月19日（24人）、3月16日（28人） 計11回 281人
	草加市	・医療機関・介護事業所の情報を記載した「草加市在宅医療・介護連携ガイド」を作成し、医療・介護従事者に向け配布した。 ・「在宅医療サポートセンター」において、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。（相談件数：333件） ・MCS（ICTを使用した情報連携ツール）実務者研修会を実施 8/26
	越谷市	・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を265件受け付けた。
	八潮市	・在宅医療サポートセンターによるMCSの登録作業やホームページ等による啓発活動の実施。 ・「医療と介護連携連絡表」の見直し、活用の促進PRの実施。 ・事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関・薬局・介護サービス事業所等に配布。
	三郷市	・介護保険の認定申請窓口にて、三郷市在宅医療介護連携サポートセンターの案内チラシを配布。 ・MCSの積極的な活用を促進するために、連携拠点による事業所へ活用状況のアンケート調査を実施。個別に活用方法等を説明。 ・市民向けに介護保険に関する内容をのせた介護の絵本を作成。市内の小中学校や公共機関に絵本を配布。
	吉川市	平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」が公開され、在宅医療・介護関係者間の情報を共有している。
	松伏町	・平成30年度に医療介護関係者と行政が情報共有するためのシステムを開発し、運用を実施している。 ・埼玉県医師会が開発した医療介護専門SNS（Medical Care Station）の普及啓発に努めた。
④ 関係機関の連携の推進	越谷市医師会	越谷市内医療機関へ向け、各関係機関との情報共有について状況調査を行った。越谷市内訪問看護ステーション、ケアマネジャーへ向けアンケートも実施。集計結果を分析し、委員会等協議内容への参考としたり、市内病院への出張講座実施時の発表資料にも活用している。また、「医療と介護連携の会・世話人会」を2か月に1回開催。越谷市における多職種各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケア推進のための意見交換や体制の構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目的にMCSで県内拠点グループを作った。「越谷市地域緩和ケア連携委員会」は緩和ケアの連携に向けて立ち上げた。介護職にも医療の視点を、医療職にも新しい学びができるよう「医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント」をシリーズで開催。ACP普及のために意思決定を考えられるよう市役所と一緒に市民向け講座も企画した。コロナ禍の為研修会等はWeb開催を行った。
	吉川松伏医師会	・市町のケアマネ会に定期的に参加。 ・埼玉県拠点が主催する埼玉県在宅医療連携協議会の実行委員として参加。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関との調整。
	越谷市歯科医師会	平成23年度から地域包括支援センターとの交流会を継続して実施し、下記取り組みを行っている。 -認知症、独居、引きこもり、貧困等を対象に、見守りチェックシートの活用 -連携シート（歯科医師会～地域包括支援センター間）の活用による見守り体制の構築
	春日部市薬剤師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会の研修会に参加した。

埼玉回生病院	<p>地域ケア推進会議—地域包括支援センター職員及び市職員が集まり、各議題について検討すると共に、情報の共有化を行う会議に出席した。</p> <p>専門職種別会議—保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種が各専門性を活かした活動を実施するための専門職会議に参加した。</p> <p>自立支援型地域ケア会議—理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等が参加する自立支援型地域ケア会議に参加した。</p>
草加市立病院	<p>草加市在宅医療・介護多機関共同研修会に参加した。</p> <p>8月 31日 がん相談支援センター相談員研修</p> <p>10月 2日 草加・八潮地域の患者さんを支える！</p> <p>10月 12日 埼玉県児童虐待対応医療ネットワーク事業</p> <p>11月 10日 エンレスト発売記念講演会</p> <p>11月 25日 心房細動医療連携セミナー</p> <p>2月 4日 第23回国立がん研究センター東病院地域医療連携のための情報交換会</p> <p>2月 9日 Eliquis AreaWeb Seminar</p> <p>2月 17日 第14回埼玉県東部地区脳卒中地域医療連携の会</p> <p>3月 4日 埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会</p> <p>3月 4日 第21回医療と介護連携の会</p> <p>3月 13日 子ども虐待の予防と対応研修</p>
春日部市	<p>【介護保険課】</p> <p>介護関係者を対象にオンラインで「春日部市介護事業部門連携研修・交流会」（全体）を開催した。</p> <p>実施日（参加者数）：実施日（参加者数）：8月19日（241人）</p>
草加市	<p>・草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、1回会議を開催した。（1210）</p>
④ 関係機関の連携の推進 越谷市	<p>・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を1回開催し、在宅医療・介護連携推進や、認知症施策の推進について審議した。（実施日：8月27日）</p> <p>・多職種が参加する研修会を5回開催し、250人が参加した。（オンライン研修と合わせると、15回・569人が参加した）</p> <p>7月31日 14人 WRAP研修会</p> <p>8月26日 44人 第6回医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント～新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について～</p> <p>11月13日 45人 第7回医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント脳卒中について～知っておきたい脳卒中のあれこれ～</p> <p>12月16日 63人 緩和ケア研修会～がん疼痛治療の基本を見直す～</p> <p>3月17日 84人 訪問診療は毎日がACP～何気ない会話の中から感じとろう～</p> <p>・お昼の時間を利用し、オンラインを利用した研修を毎月実施した。（10回開催、計319人が参加）</p> <p>6月17日 18人 Amiカフェ「救急救命士、理学療法士からの話」</p> <p>7月15日 28人 Amiカフェ「今日から使いたくなるリハと栄養のコツ」</p> <p>8月20日 37人 Amiカフェ「その人らしさを支えるリハビリ」</p> <p>9月24日 35人 Amiカフェ「題名のない対談」</p> <p>10月22日 36人 Amiカフェ「人生や生活に彩りを添えよう」</p> <p>11月25日 32人 Amiカフェ「薬剤師と栄養士を活用してチーム力をアップしよう！！」</p> <p>12月23日 32人 Amiカフェ「多職種で最善のケアプランを考えよう！！～予後予測って知っていますか？～」</p> <p>1月20日 35人 Amiカフェ「リハ協の活動と取り組みを知ろう！！」</p> <p>2月17日 34人 Amiカフェ「訪問歯科と言語聴覚士を活用して希望をかなえよう！！」</p> <p>3月25日 32人 Amiカフェ「救急救命士の仕事を知らう！！」</p>
八潮市	<p>・関係機関の連携および情報共有を図るため、草加市八潮市合同で多職種研修会の実施。（配信期間：令和2年10月20日（火）～11月24日（水） 視聴回数：643回）</p> <p>・令和2年7月30日 草加保健所による入退院支援ルールに関する意見交換会に出席。</p>
三郷市	<p>・三郷市在宅医療介護連携推進協議会を年3回開催。（主体：市）</p> <p>・多職種研修会を年1回開催。（主体：市）</p>
松伏町	<p>・医師会と行政が中心となって組織する「多職種連携の会」及び吉川松伏在宅医療サポートセンター主催の研修会を5/22に実施した。</p>